

新型コロナウイルス感染防止のために

新しい生活様式…「あたりまえ」(自然に)にみんなができ、
「思いやり」をもち、「心配り」のできる児童の育成を目指して
六郷小学校生徒指導部

- 何よりも大切なのは「自分の、友達の、家族の、大切な人の」“命”です。
- 毎朝、登校前の検温、マスクの準備、手洗い・うがいの習慣をみんなが意識しよう。
- 「自分はだいじょうぶ」ではないのです。「だいじょうぶかな」が大切です。
- 「新型コロナウイルス感染防止」は一人一人の「思いやり、心配り」が大切です。
- 一人一人の「考える力」「判断する力」が望まれます。



☆必ずマスクをつける場面

- ①朝の健康観察の時
- ②全校集会や学年集会、検診などのたくさんの人が集まる時
- ③グループ学習などの顔を合わせて活動する時
- ④給食当番はもちろん、全員が食事前まで。(おかわりの時)
- ⑤保健室を利用する時
- ⑥先生からつけるように「指示」があった時

※いつでもつけられるように準備しておくこと。



集団登校時

- 家を出る前に、**検温・マスクの準備**を忘れずに。
- 集合場所での「**密集**」をさけるようにしよう。
- 登校班長が先頭、副班長が最後尾で一列に並び、必要のない「**大きな声での会話**」はひかえる。



服装・持ち物

- マスクは絶対忘れない。**(手洗い後の**ハンカチ**も必要)
- 予備のマスクは**3枚**、ランドセルの中に準備しておく。

生活する中で

- 学習(教室内)はマスクをつける。
- 休み時間のろう下などでの「**大きな声での会話**」は、**つばがとぶ(飛沫)**ので特に気をつける。
- 友達に顔を近づけないように注意する。
- しみずっ子、昼休みの後は「**手洗い・うがい**」をかならずする。
(3分前行動で授業のスタートを守る)
- 給食時の必要のない会話はせず、**静かに食べる。**
- 窓の「**換気**」には常に気をつける。



「手洗い・うがいの習慣化」について

☆必ず「手洗い・うがい」をする場面

- ①朝、登校後すぐ
- ②外での活動(休み時間、栽培、除草、プール、マラソン練習)の後
- ③給食前の準備、そうじの後、トイレの後
- ④帰宅後、すぐに
- ⑤先生から手洗い・うがいの「指示」があった時



その他

- バスの中はマスクをかならずつける。席に**静かにすわる。**
- 「児童クラブ」でも指導員の先生方の指示にしたがう。
- 具合が悪く、保健室を利用するときには担任または**学年の先生へ必ず連絡をしてから**利用する。
- 休み時間などに体調が悪くなった場合も先生方に必ず伝えること
「全校の一人一人の行動と意識」「みんなでする」を合言葉に